

(平成28年6月作成)

事務事業評価シート

(H.28)No.	3252	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	介護ロボット導入促進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	宮崎 正秀	

会計区分	事業コード	147901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	介護ロボット導入支援事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	介護ロボット導入支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5 自立を支える地域福祉の充実
	施策	1 高齢者福祉
	小施策	3 保健福祉サービスの充実
重点施策コード	1-4.名張版安心介護プロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
補助金の交付により、介護従業者の負担の軽減を図ろうとする介護サービス事業者へ介護ロボットの導入経費を支援する。
事業内容
1機械当たり20万円以上、1事業所につき300万円を上限として導入経費に対して補助金を交付する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画		・介護ロボット導入経費 7事業所 20,039千円			

	H.27年度(決算見込)		H.28年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費			20,039千円			
内訳(千円)	国・県支出金		20,039			
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数	職員		0.02人			
	臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 0千円		152千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 0千円		20,191千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
国の要綱に基づきより市が介護サービス事業者に補助する介護ロボット導入経費である。介護サービス事業所が介護ロボットを導入することにより、介護事業者の負担軽減と利用者の安全性向上に効果がある。	

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか - (施策指標の達成に分類できない)	介護従業者の負担軽減を図る効果がある。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
国の補助事業に基づき、事業を実施する。(国の平成27年度補正予算における単年度事業)	